

2017年度 (社)日本形成外科学会 小児形成外科分野指導医認定試験

(お願い)
座席の指定はありません。
前方から順に着席してください。

試験時間 16:00 ~ 16:30

1. Frontal plagiocephalyのX線所見で正しいのはどれか。二つ選びなさい。

- a) 患側冠状縫合の硬化像
- b) 患側眼窩のharlequin sign
- c) 患側蝶形骨小翼の下方偏位
- d) 患側前頭骨の突出
- e) 鼻中隔上部の健側への偏位

2. 正しい組合せはどれか。

- a) Furlow法 口唇形成術
- b) push back法 口蓋形成術
- c) 舌弁手術 上口唇変形の修正
- d) 咽頭弁法 口蓋鼻瘻孔の閉鎖
- e) Millard法 鼻咽腔閉鎖機能の改善

3. 先天性眼瞼下垂について正しいのはどれか。

- a) 二重瞼が多い
- b) 眼瞼挙筋の機能は保たれている
- c) 老人性眼瞼下垂よりも頻度が高い
- d) 上直筋の機能が低下していることがある
- e) 弱視は伴わない

4. Robin シークエンスについて誤っているのは
どれか。

- a) 小顎症を呈する
- b) 口蓋裂を伴わないこともある
- c) 舌根沈下により気管切開をすることがある
- d) 下顎骨延長術を行うことがある
- e) 巨口症を合併する

5. 手の先天異常について誤った組み合わせはどれか。

- a) 合指症 アポトーシスの異常
- b) 巨指症 神経肥大
- c) 絞扼輪症候群 有窓性合指
- d) 母指多指症 Swanson分類
- e) 母指形成不全 Blauth分類

6. 誤っているものを選びなさい。

- a) 臍ヘルニアは自然治癒率が高く2歳までに約90%で自然治癒するとされる
- b) 保存的療法としては絆創膏固定法やスポンジ圧迫療法などがある
- c) 臍ヘルニアの治療法としては皮弁法や縫着法がある
- d) ナス法では金属製のバーを胸骨裏面に挿入することで胸骨が挙上される
- e) 漏斗胸の成因としては肋軟骨の過成長説が有力である

7. 小児の下顎骨骨折について誤っているものを選びなさい。

- a) 下顎孔は第2小臼歯の尾側に存在する
- b) 小児の顔面骨折で最も頻度の高いものは下顎骨骨折である
- c) 10歳以下の下顎骨折ではcondyle fractureの頻度が最も高い
- d) 6歳のcondyle fractureは長期的には成長障害を起こすことがある
- e) 咬合歯列期のrigid fixationでは犬歯の歯胚を損傷しやすい

8. 正しいのはどれか。

- a) 巨大乳児血管腫はKasabach-Merritt phenomenonを
起こしやすい
- b) 太田母斑と伊藤母斑はともに病態は真皮メラノサイ
トーシスである
- c) 5 mm以上のカフェオーレ斑が6個以上存在しておれば
神経線維腫症 1 型と診断できる
- d) 若年性黒色斑は小児の体幹に好発する
- e) 神経皮膚黒色症は皮膚症状だけで診断が可能である

9. 小児の熱傷について誤っているのはどれか。

- a) 全身の保温を行う
- b) 感染による熱傷深度の進行は、成人より頻度が高い
- c) 手の熱傷では、手背熱傷が多い
- d) 関節の拘縮は起こりにくい
- e) 成人より体重あたりの輸液量は多く必要である

10. 正しいのはどれか。

- a) 胸骨部の創は、ケロイドになりにくい
- b) 小児の分層採皮では、相対的に深くなりやすい
- c) 小児では肥厚性癬痕のなりやすさに人種差はない
- d) 四肢伸側の癬痕は顔面の癬痕よりもきれいになりやすい
- e) 正常皮膚では肥厚性癬痕よりもフィブロネクチンの量が
多く存在する。